学生意見箱へ寄せられた意見

令和7年度

件名	内容	回答
CampusSquareの「掲示板」について	<p>CampusSquareを開くと、一番上に「掲示板」の部分があり、新着のお知らせがある場合にはメッセージが表示され、気づきやすい設定になっていますが、特に新着未読のお知らせがない場合、「掲示板」を開くには、 メニュー>>掲示・アンケート>>掲示板>>新着掲示 と、4回も動作をしなくてはならず、特に急いでいるときには、(急いでなくてもそうですが)正直煩わしいです。学生に周知したいから掲示板に掲載しているのに、工程が多く、確認しにくくなっているのは本末転倒ではないでしょうか。使用する学生の立場になって見直していただけると幸いです。</p>	<p>HOME画面に「よく使うメニュー」を設定し、その中に「新着掲示」を付けました。</p>
学生駐車場について	<p>先日、今年度の学生駐車場利用申請を行いました。残念ながら抽選に外れてしまいました。</p> <p>昨年12月頃、学生駐車場の収容台数が減少するという案内があったと記憶しておりますが、その理由について改めてご確認させていただけますでしょうか。たしか、他機関への貸与に関連していたかと記憶していますが、学生の駐車スペースを削減してまで行う必要があるのか疑問を感じております。</p> <p>私は大学院生で、週に5日ほど研究室に通っており、自動車通学が研究活動の効率に大きく影響しています。今回の抽選結果により駐車場を利用できなくなることで、通学にかかる時間が増え、研究への支障も懸念されます。同様の状況は、学部生を含む多くの学生にも当てはまるかと思えます。</p> <p>また、「抽選結果を発表しました。外れた方は明日から使用不可」という対応は、学生への影響を十分に考慮したものとは言い難く、今後はより柔軟な運用や周知が望まれると感じております。</p> <p>つきましては、学生駐車場のスペース縮小について、学生の教育・研究活動への影響も含めて、再度ご検討いただけますと幸いです。</p> <p>お忙しいところ恐縮ですが、何卒よろしくご願ひ申し上げます。</p>	<p>このたびは、貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>駐車場の抽選に外れたことにより、通学や研究活動への影響が出る可能性があるとのこと指摘について、大学としても学生の皆様にご不便をおかけすることとなり、心苦しく思っております。</p> <p>本学では令和7年度における学生用駐車スペースの運用について、施設運用上の調整によりやむを得ず学生駐車場の2/3の区画を他用途に転用せざるを得なくなったため、収容台数の大幅な減少が見込まれることから、例年に比べて多くの申請者の方に抽選方式をさせていただきました。</p> <p>学生の皆様にとって、自家用車による通学が時間の効率化に資することは、大学としても十分に理解しております。</p> <p>引き続き、学生の皆様のご意見も踏まえながら、学生の皆様が安心して学業・研究に取り組めるよう努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>

件名	内容	回答
<p>数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム（応用基礎レベル）の対象範囲に関する説明と再検討のお願い</p>	<p>このたび、貴学にて実施されている「数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム（応用基礎レベル）」について、対象範囲の取り扱いに疑問を抱き、ご説明とご対応をお願いいたくご連絡いたしました。</p> <p>当該プログラムは、「全学部生を対象」と明記されておりますが、実際には「2023年度以降入学者」のみを対象としており、私は令和4年度入学の学部4年生であるにもかかわらず対象外とされております。</p> <p>さらに、要項には「令和7年4月14日から施行し、令和5年度入学者から適用する」と記されており、施行日以前から運用が始まっている点を含め、説明と実態に整合性が見られず、学生として納得のいく内容とは言い難いと感じております。</p> <p>また、同プログラムが「数理・データサイエンス・AIを活用するための実践的・汎用的な能力の育成」を目的としている以上、現に学部教育を受けている学生（特に卒業研究などでデータ活用を有する上級生）をあえて対象外とする理由には、明確な教育的・制度的根拠が必要であると考えております。</p> <p>以上の点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ2023年度以降の入学者に限定しているのか ・「全学部生」という表現との整合性 ・実施時期と要項施行日の関係について、制度設計の背景・根拠を含めて、明確なご説明をお願い申し上げます。 <p>なお、これらに関して合理的な理由が見出せない場合には、現在在籍中の学部4年生についても本プログラムの対象とするよう、柔軟かつ前向きなご再考とご配慮を強くお願い申し上げます。</p>	<p>「数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム」は、リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力、AIを活用し課題解決につなげる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得することを目標として設計しています。</p> <p>このため、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AIを習得していることを前提としています。</p> <p>そして、本学では、令和5年度から開始した「数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム」をリテラシーレベルの教育として位置づけています。</p> <p>このようにリテラシーレベルから応用基礎レベルへと段階的に学ぶ教育プログラムとして設計していることから、令和5年度以降の入学者を対象としたものです。</p> <p>従いまして、ご指摘のありました「全学部生を対象」という表現との整合性につきましては、「（令和5年度以降の入学者）全学部生」を意図しておりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。</p>